

Bグループ(水津職務代理、鈴木(恭)委員、谷村委員、村上委員)

安全治安確保 (あぶねーぞ)	すべての子が受け容れられる場所
	大きな犯罪にまきこまれない
	学校でも家でもない安心して過ごせるような所になるように
	子どもと一緒に安心・安全な場所をつくる
	子どもの望む居場所＝親の安心
	車の侵入などの制限を強くし、特に何もしなくても安全に過ごせる街にする
いつでもだれでも	どんな時でもどんな状況でも「ひとりじゃない」と実感できる場所
	行政主導ではなく当事者主体の居場所づくり
	毎日行く場所がどこかしらある
	中高生の場所の充実
	歩いていける距離
	子どもが自分の足で行ける場所・地域差がないように
	行きたいと思ったときにすぐに探せる利用できる
	雨の日でも遊べる
	児童館・公民館のように、天候に左右されない場所の提供
シームレス (お前だけで楽しむな) (大人と同等に過ごす)	初めてのでも参加しやすい
	子どものやりたいことをさりげなくサポートしてくれる。危ないもOK
	様々な経験をすることができる
	さりげなく社会的マナーを学べる？社会とのつながり
	ものづくり体験
	多世代交流
	多世代交流がある
	多世代(いろいろな立場の方)交流
	異世代で交流できる場所・大人と子どもの間の存在
※上記「シームレス」のそばにあり	大人が楽しめる (※子どもも大人もみんなで楽しめる場所)
	「今日の放課後のすごし方」を選べるしくみ
	子どもの望みに寄り添える場所
	子供が自分たちの力で居場所をつくりだせるノウハウや経験を身につけられる場所
完全なる自由 大人との距離 (ほっとけ)	子どもの力を見守ってくれる
	様々な選択肢(居場所のジャンル)
	ボールをつかえる。
	大きな音を出せる。
	何もしなくてもいい(ダラダラしても大人に怒られない)
	ねれる
	小さいケガをしていい場所
	地域交流がある
	自分の希望に合う場所をみつけられる
一人にさせない (わすれんなよ)	自然 大勢でも一人でも存在できる
	親が帰ってくるまでいてもいい(夜までやっている)
	おなかがいっぱい食べられるものがもらえる
	「誰一人置き去りにしない」理念に基づいた居場所づくり
※上記「一人にさせない」のそばにあり	声を上げにくい悩んでいる子ども、親に手を差しのべる居場所づくり
	精神的、経済的負担の大きい子ども、親を重点的に支援する居場所づくり
	大学生ボランティアの活用拠点 (※中高生のボランティア活用も)
	なんでも話せる、相談できる場
聞く体制 (はなしきけコラ！)	子供たちがボロッと発する本音や表情を「市民」が感じられる場所
	スタッフの考え共通認識も大事、みんなで考える
	大人の意識改革
	あらゆる場所で意見をきいてもらえる
※上記「聞く体制」のそばにあり	こどもの居場所≡大人の居場所 (※みんなで集える居場所)
	自分が属さない居場所を理解し尊重しあう
	そこにいる人、あつまる人が、同じ立場にあるスペース お客さんにならない
	持続可能をめざす支援
実現するための手段 (金出せ)	広報！
	子どものため十分な財政的支援のある居場所づくり
	今ある建物を再利用したい資金援助して
	運営団体が継続的に活動できる体制
	子ども子育てに関する情報、支援活動の一本化